

テーマ：子育て・教育

事業名	今後の方向性等	具体的内容
(生涯学習課) のびのび興譲館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容・定員等について検討し、今後も移住してきた人たちに好印象を与えるような事業を継続していく。</li> <li>・自然塾やクッキング塾などで、都留市の特産品である水かけ菜や、地元で採れた野菜を取り入れた料理を増やし地産地消を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員割れの塾については、活動内容・定員等について検討する。特に自然塾は活動内容を検討し、多くの子どもが参加しやすい内容にしていく。</li> <li>・自然塾・クッキング塾の活動には、文大生にも協力してもらっている。特にクッキング塾は、年に一回、留学生が講師となり、母国の郷土料理を教える活動がある。今後は、文大生との連携がさらに増えていくような取り組みを進めていく。</li> <li>・地産地消を推進するため、今後も、都留市の特産品である水かけ菜や地元で採れた野菜を使う機会を増やし、子どもたちに郷土愛の心を育むことにもつながるような活動を実施していく。</li> </ul>
(生涯学習課) 放課後子ども教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学生指導員の活用」、「野外活動サークルに直接依頼」、「大学公開講座との連携」などについては、指導員を確保するためにも、更なる都留文科大学との連携や保護者の積極的参加を促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員が高齢化していることや学生指導員の希望日と活動日が一致しない時期があるため、新たな指導員の確保や大学生の協力を促す。</li> <li>・保護者が子ども教室への理解を深め、関心を高めることにより、保護者自身が子ども教室に積極的に参加できるようにする。そのために、親子参加型活動への積極的呼びかけや、子ども教室の活動の様子を保護者に周知する。</li> </ul>
(学校教育課) 英語特区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 32 年度の学習指導要領改訂により小学校 3・4 年生に外国語活動が導入され小学校 5・6 年生には英語科が導入される予定であり、平成 30 年度には先行実施が計画されている。これを受け、都留文科大学附属小学校で蓄積したノウハウをもとにした小学校英語教育を平成 30 年度に市内全校に広げることが予定している。ただし、低学年における英語教育は特区独自のものであるため指導要領改訂後も継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属小の英語特区を充実させ、自然豊かな環境を活かした自然体験活動や環境教育もあわせ、移住等を考えてもらえるような学校づくりを進める。</li> <li>・平成 30 年度の小学校における英語教育の先行実施を視野に入れながら、都留文科大学の知見を活かし、小学校英語の指導カリキュラムの構築を図る。</li> </ul>

(学校教育課) 学生アシスタントティーチャー制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員志望の学生を小中学校にアシスタントティーチャーとして配置し、児童生徒へのきめ細やかな指導の充実を図ると共に、大学生が教師になるための資質を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と学生をつなぐ役割の都留文科大学教職支援センターとの連携を密にし、教員志望の学生の資質向上と小中学校児童生徒のきめ細かな指導のため、事業の充実を図る。</li> </ul>
(健康子育て課) ママさん学級/両親学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産から育児までの切れ目ない支援体制の充実や、効果的な制度の周知方法を検討する。</li> <li>・現状の本市の事業に関しては、利用者からは好評な事業が多いので、より利用しやすいような取り組みを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中のママさんパパさんを対象に実施していた事業を拡大し、出産してからの新米ママさん・パパさん、またおばあちゃん・おじいちゃんなどを対象とした、家族学級を実施する。</li> </ul>
(健康子育て課) ファミリー・サポート・センター事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都留文科大学だけでなく、今後は健康科学大学や産業技術短期大学校の学生にも、子育て支援に関わってもらえるような施策を考え、地域との連携も視野に入れる事業にも取り組むことで、安心して子育てが出来るまちづくりを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり交流センターでのファミリー・サポート・センターの交流活動に参加している人数は増加していることから、会員同士の交流活動や、子育て中の相談支援をさらに推進する。</li> </ul>
(健康子育て課) 地域子育て支援センター事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターについては、少子化により利用数は減少している。センターへの補助金の内容を精査し、さらに子育て世帯の交流の場・相談の場として充実した活動を行う。</li> </ul>
(健康子育て課) 病児・病後児保育事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児・病後児保育事業については、委託先への事業費について精査しながら、さらに充実した事業を推進していく。</li> </ul>
(健康子育て課) 放課後児童クラブ (学童保育)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブについては、公設民営という制度での事業展開の中、クラブ間での交流を図りながら充実させていく。また、放課後子ども教室との連携、一体化をさらに進めていく。</li> </ul>